



# 現地バス ツアー #2

## 11/9 (日)

参加者37名

さまざまなスポットから福島潟を眺め、地形の形成過程を学ぶ  
当日は、水の駅「ビュー福島潟」の屋上や、福島潟周辺の集落から潟を見学して、過去の巨大な福島潟の姿に思いを馳せながら、澤口先生のガイドに耳を傾けました。

### 風土(地形や気候)への理解を通して、人々の暮らしや営みに思いを馳せる



▲東区のじゅんさい池を見学  
砂丘列上に位置するじゅんさい池を見学し、その形成過程を学びました。

▲松浜の池周辺を地元住民が案内  
阿賀野川の河口近くにある松浜の池周辺を、地元住民の案内で見学しました。

▲棕堰周辺から新砂丘Iを見学  
福島潟放水路の棕堰周辺から、新砂丘I(最も内陸側の砂丘列)を見学しました。

▲ダシの風を防ぐ五泉の屋敷林  
局地風であるダシの風と屋敷林が生み出す「気候景観」を見学しました。

形成過程について学びました。

丘陵を観察しました。その後阿賀野川河口近くにある松浜の池を、地元の方の案内で見学しました。最後に、新潟市東区のじゅんさい池へ移動し、地形の形成過程について学びました。

下流域の特徴的な風土を巡り、地域の持続可能性を考えるツアー

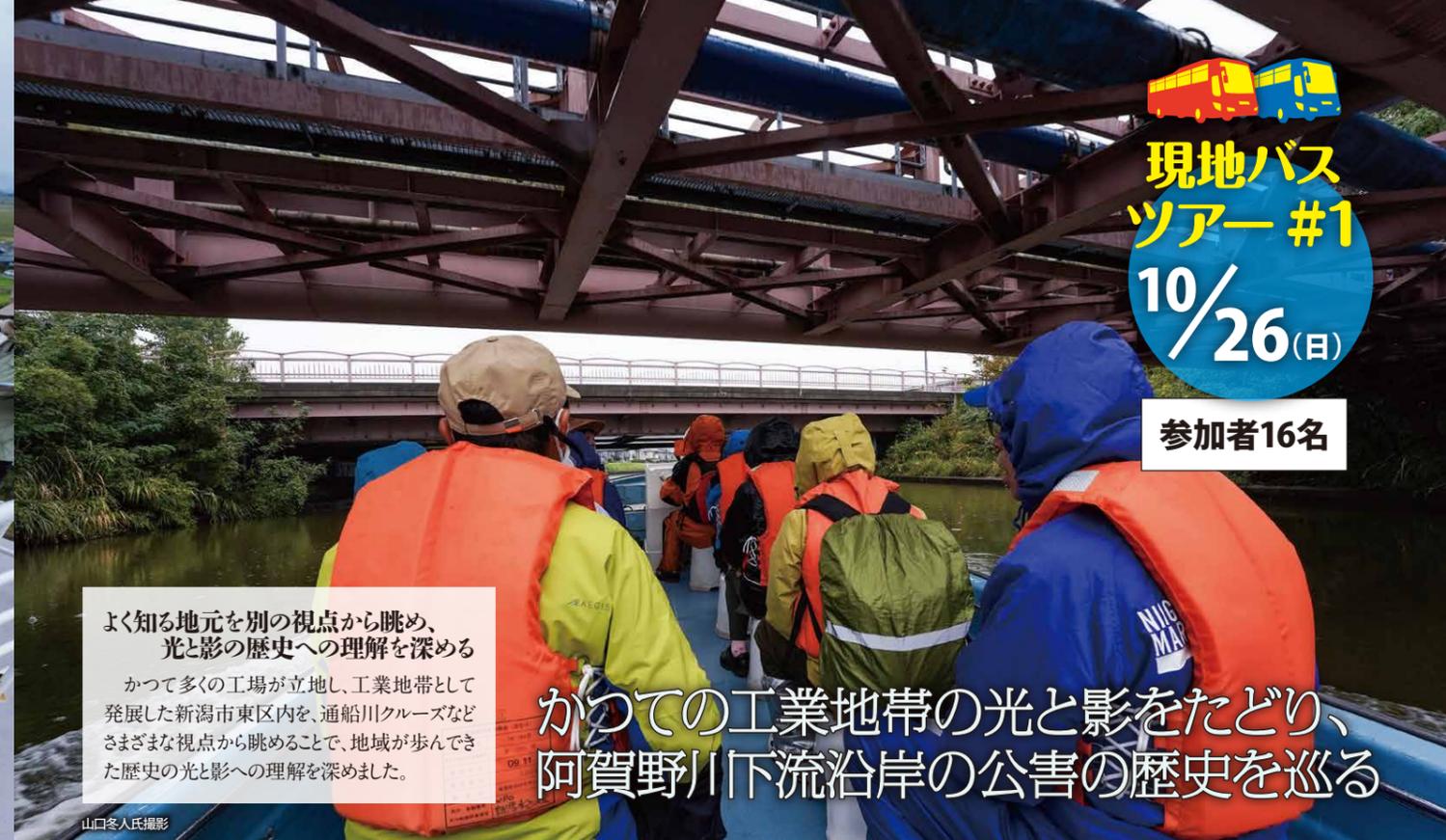
現地バスツアー2日目は、新潟国際情報大学教授の澤口晋二先生によるガイドのもと、阿賀野川下流域の特徴的な地形を巡りました。各地の風土に触れながら、そこに適応してきた人々の暮らしや営みに思いを馳せました。

提供の  
実りの秋 里山の恵み弁当とスイーツ



## 11/9 「ご意見・ご感想」 参加された皆さんの

- 何気なく見ている集落の屋敷林について、その土地の気候や地形との関連が分かり、ためになった(新潟市江南区・60代)
- ビュー福島潟の屋上から、昔の福島潟の広さを教えてもらい驚いた。干拓した先人の苦労が偲ばれ、今の美しい風景に感動(新潟市江南区・70代)
- 松浜の池の保全活動をしている松浜地区コミュニティ協議会の方々への熱い思いが聞けて良かった(新潟市北区・70代)
- 松浜の池には絶滅危惧種のトンボも棲息しているとのこと。大切に守りたい(新潟市東区・60代)
- じゅんさい池が砂丘地形からできたことがよく分かった。ツアー全体を通して現地を確認できてワクワクした(新潟市江南区・40代)
- じゅんさい池の成り立ちがとても面白かった。多くの方に知ってもらいたい(阿賀町・50代)
- 阿賀野川について普段行けない場所の見学や地形などの専門的な話をたくさん聞き、学び直しの一日になった(新潟市江南区・60代)
- 澤口先生の解説が分かりやすく、地形学は楽しいと感じた(新潟市北区)
- お弁当は野菜が多く、阿賀町産の原木マイタケたっぷりのご飯が美味しかった。柿とクレミのケイクも嬉しかった(新潟市北区・50代)



# 現地バス ツアー #1

## 10/26 (日)

参加者16名

よく知る地元を別の視点から眺め、光と影の歴史への理解を深める  
かつて多くの工場が立地し、工業地帯として発展した新潟市東区内を、通船川クルーズなどさまざまな視点から眺めることで、地域が歩んできた歴史の光と影への理解を深めました。

### かつての工業地帯の光と影をたどり、阿賀野川下流沿岸の公害の歴史を巡る



▲県立環境と人間のふれあい館 新潟水俣病資料館を訪問  
被害者のお話を聴き、館内を見学しました。

▲阿賀野川下流沿岸各地を見学  
阿賀野川下流沿岸の、新潟水俣病に関連する各スポットを、ガイドの案内で見学しました。

▲通船川の乗船を体験し、新潟市東区の産業発展の歴史を学習  
旅行会社・(株)トラベルマスターズの企画で、一般社団法人新潟水俣病の会による通船川クルーズを体験したほか、東区の産業発展の歴史も学びました。

当初は阿賀野川の本流をクルーズする予定でしたが、津島屋門排水機場の改修工事と重なったため予定を変更し、旧河道である通船川の乗船体験を実施しました。

当日の午前中は、通船川を含めて新潟市東区内を巡り、地域の産業発展の歴史について学びました。午後は、阿賀野川沿岸などを巡り、新潟水俣病被害者の体験に耳を傾けました。

阿賀野川の旧河道を体感し、地域の歴史の光と影をたどるツアー

わたご飯店  
by わたご酒店さん提供の  
阿賀流域食材特製弁当と  
旬のフルーツ盛り合わせ



## 10/26 「ご意見・ご感想」 参加された皆さんの

- 通船川クルーズは初体験で、川面から見る風景はまた違った趣きのある風景で良い体験ができた(新潟市東区・60代)
- 通船側クルーズでは、低い水面から見える景色が住宅や工場だけでなく、植生や生き物も見え、自然に触れている感じが良かった(阿賀野市・70代)
- 現地見学で阿賀野川の河口の変化について深く理解できた(新潟市東区・70代)
- これまで機会がなく、初めて新潟水俣病についてしっかりと話を聞いた(新潟市東区・50代)
- 新潟水俣病の経緯を分かりやすく説明してもらい勉強になった。語り部さんの悔しい思いが伝わった。とても勇気があると思う。他人事ではないと覚えておきたい(新潟市北区・50代)
- 被害者の方々が、周囲の差別にも苦しんでいることは知っていた。しかし、語り部の方の言葉を聞くと胸に刺さるものがあった。体の痛みにも耐えながら、皆のために語り部の活動などされていることに頭が下がる(阿賀野市・70代)
- 新潟水俣病の歴史を風化させず、未来に語り継ぐ大切さを思い知った(新潟市東区・60代)
- お弁当は地元野菜がたっぷりで、彩りも美しく美味しかった(新潟市東区・50代)